



2020年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社エムアップホールディングス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 美 藤 宏 一 郎
(コード番号：3661)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 総 務 経 理 部 長 藤 池 季 樹
TEL. 03-5467-7125

(訂正) 「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年5月15日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部誤りがございましたので、下記の通り訂正してお知らせいたします。なお、数値データについては、訂正はありません。

記

1. 訂正の理由

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、提出済みの決算短信を訂正させていただくものであります。なお、今回の訂正による損益への影響はございません。また、訂正箇所は下線を付して表示しております。

2. 訂正の内容

添付資料3ページ、

【セグメント情報】、

1. 経営成績の概況

(訂正前)

①コンテンツ事業

コンテンツ事業では、スマートフォンやPC向けのファンクラブサイト運営や各種デジタルコンテンツ配信、アプリの提供などを行っており、これまでのセグメントでは、携帯コンテンツ配信事業、PCコンテンツ配信事業及びアプリ事業が含まれております。

当連結累計期間におきましては、EMTG株式会社を子会社化したことに伴い、当社グループにて運営するファンクラブ/ファンサイト並びにその有料会員数は大幅に増加いたしました。また、これまでと同様に、アーティストや声優、タレントのファンクラブ、ファンメールサイトの開設を進めるとともに、他社からのサイト運営の移管などによって、新たな有料会員の獲得に取り組んでまいりました。加えて、年額制のファンクラブの採用や、既存サイト及びサービスのアプリ化、アプリを通じたスマホ決済サービスの導入などを進めることで、多様化する利用者ニーズへの対応と、収益獲得のための間口の拡大にも努めてまいりました。

既存のファンクラブサイトにおいては、会員向けのチケット先行販売の実施や、電子チケット及びチケットトレードサービス、ファンメール等の導入によって、会員数維持や単価上昇のための施策を講じてまいりました。

また、これまでのコンテンツ配信で培った経験やノウハウを活用し、動画配信分野の強化並びに新規事業の開発にも引き続き努めてまいりました。

その他、アイドルグループとのコラボレーション公式ファンアプリにおいて、機能追加や利便性の向上を目的とした大型アップデートを行うとともに、各種キャンペーンを展開してまいりました。

以上の結果、当連結累計期間におけるコンテンツ事業の売上高は**5,766**百万円(前年同期比 $\underline{\quad\quad}$ \%)、セグメント利益は**630**百万円(前年同期比 $\underline{\quad\quad}$ \%)となりました。

(訂正後)

①コンテンツ事業

コンテンツ事業では、スマートフォンやPC向けのファンクラブサイト運営や各種デジタルコンテンツ配信、アプリの提供などを行っており、これまでのセグメントでは、携帯コンテンツ配信事業、PCコンテンツ配信事業及びアプリ事業が含まれております。

当連結累計期間におきましては、EMTG株式会社を子会社化したことに伴い、当社グループにて運営するファンクラブ/ファンサイト並びにその有料会員数は大幅に増加いたしました。また、これまでと同様に、アーティストや声優、タレントのファンクラブ、ファンメールサイトの開設を進めるとともに、他社からのサイト運営の移管などによって、新たな有料会員の獲得に取り組んでまいりました。加えて、年額制のファンクラブの採用や、既存サイト及びサービスのアプリ化、アプリを通じたスマホ決済サービスの導入などを進めることで、多様化する利用者ニーズへの対応と、収益獲得のための間口の拡大にも努めてまいりました。

既存のファンクラブサイトにおいては、会員向けのチケット先行販売の実施や、電子チケット及びチケットトレードサービス、ファンメール等の導入によって、会員数維持や単価上昇のための施策を講じてまいりました。

また、これまでのコンテンツ配信で培った経験やノウハウを活用し、動画配信分野の強化並びに新規事業の開発にも引き続き努めてまいりました。

その他、アイドルグループとのコラボレーション公式ファンアプリにおいて、機能追加や利便性の向上を目的とした大型アップデートを行うとともに、各種キャンペーンを展開してまいりました。

以上の結果、当連結累計期間におけるコンテンツ事業の売上高は**5,729**百万円(前年同期比**70.8%**増)、セグメント利益は**495**百万円(前年同期比**27.2%**減)となりました。

添付資料22ページ、

【セグメント情報】、

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

(訂正前)

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	E C 事業	電子チケ ット事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	5,726,215	596,717	496,625	6,819,559	99,445	6,919,005		6,919,005
セグメント間の内 部 売上高又は振替高	3,704	-	-	3,704	985	4,689	△4,689	
計	5,729,920	596,717	496,625	6,823,263	100,431	6,923,694	△4,689	6,919,005
セグメント利益又は 損失 (△)	<u>630,207</u>	205,173	123,783	<u>959,164</u>	△27,495	<u>931,669</u>	<u>△528,263</u>	403,406
セグメント資産	<u>2,389,960</u>	152,862	<u>713,204</u>	<u>3,256,028</u>	99,081	<u>3,355,109</u>	<u>6,857,552</u>	10,212,661
その他の項目								
減価償却費	22,661	282	381	23,326	793	24,119	29,435	53,555
のれん償却額	<u>89,692</u>	-	<u>21,015</u>	110,707	-	110,707	-	110,707
減損損失	<u>2,152,190</u>	-	<u>512,554</u>	2,664,745	-	2,664,745	-	2,664,745
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	<u>19,126</u>	-	2,377	<u>21,504</u>	2,873	<u>24,377</u>	579,992	<u>604,370</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

2. 調整額は以下の通りであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額△528,263千円には、セグメント間取引消去△4,690千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△523,573千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

(2)セグメント資産の調整額6,857,552千円には、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金及び管理部門に係る資産等であります。

3.セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)
当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	コンテンツ 事業	E C 事業	電子チケ ット事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	5,726,215	596,717	496,625	6,819,559	99,445	6,919,005		6,919,005
セグメント間の内 部 売上高又は振替高	3,704	-	-	3,704	985	4,689	△4,689	
計	5,729,920	596,717	496,625	6,823,263	100,431	6,923,694	△4,689	6,919,005
セグメント利益又は 損失(△)	<u>495,225</u>	205,173	123,783	<u>824,182</u>	△27,495	<u>796,686</u>	<u>△393,280</u>	403,406
セグメント資産	<u>3,058,413</u>	152,862	<u>482,030</u>	<u>3,693,305</u>	99,081	<u>3,792,387</u>	<u>6,420,274</u>	10,212,661
その他の項目								
減価償却費	22,661	282	381	23,326	793	24,119	29,435	53,555
のれん償却額	<u>110,707</u>	-	-	110,707	-	110,707	-	110,707
減損損失	<u>2,664,745</u>	-	-	2,664,745	-	2,664,745	-	2,664,745
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	<u>1,793,251</u>	-	2,377	<u>1,795,629</u>	2,873	<u>1,798,502</u>	579,992	<u>2,378,495</u>

(単位:千円)

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。
2. 調整額は以下の通りであります。
- (1)セグメント利益又は損失(△)の調整額△393,280千円には、セグメント間取引消去△4,689千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△388,590千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。
- (2)セグメント資産の調整額6,420,274千円には、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金及び管理部門に係る資産等であります。
- 3.セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

添付資料23ページ、

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

(訂正前)

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	コンテンツ事業	EC事業	電子チケット事業	その他	合計
減損損失	<u>2,152,190</u>	-	<u>512,554</u>	-	2,664,745

(訂正後)

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	コンテンツ事業	EC事業	電子チケット事業	その他	合計
減損損失	<u>2,664,745</u>	-	-	-	2,664,745

添付資料24ページ、

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

(訂正前)

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	コンテンツ事業	EC事業	電子チケット事業	その他	合計
当期償却額	<u>89,692</u>	-	<u>21,015</u>	-	110,707
当期末残高	<u>970,690</u>	-	<u>231,174</u>	-	1,201,864

(訂正後)

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	コンテンツ事業	EC事業	電子チケット事業	その他	合計
当期償却額	<u>110,707</u>	-	-	-	110,707
当期末残高	<u>1,201,864</u>	-	-	-	1,201,864

以上